1958年12月1日創立 国際ロータリー 第2730地区

鹿児島南ロータリークラブ

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリーテーマ 2017-2018年度 RI第2730地区テーマ
「ロータリー：変化をもたらす」「ロータリーを知り、理解を深めよう」

2017-2018年度 クラブテーマ
「★楽しもう、ロータリー活動を ★友達になろう、ロータリアンと ★生涯を全うしよう、ロータリーで」

姉妹クラブ：台湾 高雄東 RC 友好クラブ：フィンランド ロヴァニエミ・サンタクロース RC ドイツ カールスシュタット・アインシュタイン RC 宮城県多賀市 多賀城 RC

会長：上薗 真歩 会長エレクト：内田 修友 会長ノミニー：中村 佐知子 幹事：萩原 隆志
青 少 年 奉 仕 月 間

2017-2018年度 RI会長 イアン H.S. ライズリー
2017-2018年度 第2730地区ガバナー 押川 弘巳(宮崎北RC)
市内分区ガバナー補佐 丸山 修(鹿児島中央RC) 中川 大作(鹿児島東RC)

週 報
Vol.60 No.37
平成 30 年（2018 年）
5 月 30 日

【事務所】
〒890-0062 鹿児島市与次郎1丁目8-10
TEL:099(254)1117 FAX:099(254)1119
E-mail:south-rc@po.minc.ne.jp
【例会日】毎週水曜日 12:30~13:30
【例会場】サンロイヤルホテル

【第 2887 回例会】第 7 回クラブ協議会（地区協議会報告）

平成 30 年 5 月 23 日 第 2886 回例会

［点鐘］［四つのテスト唱和］宮田会員
［着席方法］部門別
［ゲスト・ビジター紹介］エンヤ様
［4月の出席率］60.53%。メークアップ者20名で訂正出席率は73.68%。

【会長挨拶】

台湾のエンヤさん、ようこそいらっしゃいました。ご活躍をお祈り致します。

さて、今月は、青少年奉仕月間ということで、それに関連したお話しをさせて頂きます。

皆さんもご存知かも知れませんが、成功してきた人の中から、家具ニトリ創業者の似鳥氏とドン・キホーテの創業者の安田氏についてお話をさせて頂きます。

まずは、似鳥氏について、以前の日本経済新聞の「私の履歴書」に連載されておりましたが、彼は、極貧な家庭で生まれ、幼い頃から親の稼業のヤミ米販の手伝いをしていたそうです。家では、両親がとても厳しく、少しでも粗相をすると、父親だけでなく母親からも殴られ、学校でも、ヤミ米販売が稼業であったこともあってか、いじめに遭うなど壮絶な日々を過ごしていました。ある日のこと、ヤミ米をリアカーで運んでいる時、いじめっこグループにリアカーごと川に放り投げられたことがあり、命からがら川から這い上がって、家に帰って母親に話をしたところ、心配されるどころか「川に戻って、落ちた米を拾ってこい。」と言われ、一人で川に戻り、川底に落ちた米を拾い、その泥まみれの米を家族で食べたらしいです。今では考えられないエピソードです。

他にも、彼は、勉強が苦手で、通知表の 1 や 2 だったのを母親から怒られるのを逃れるため、その数字は、成績が 1 番や 2 番であると嘘をついたようです。しかし、案の定、母親に嘘がばれて、また殴られる始末。本当に、想像のできないような家庭環境であり、現在であれば、児童虐待ですぐに訴えられるでしょう。

しかし、この話もいずれは、大人になった今、彼の人生において、今となっては良い母親であったというエピソードであるかと思いきや、予想に反し、連載最終回に、なんと、父親が亡くなった後、母親に裁判を起こされ、裁判では、90 歳になる母親から罵声を浴びせられたようであります。

なかなか苦労の多いご経験をされてきたみたいですが、ただ、彼は、このような厳しい人生と向き合ってきたからこそ、どんな困難にも立ち迎えたのでしょう。

次に、安田氏のお話しをさせて頂きますが、彼は、とてもユニークな方で、非常に波乱万丈の人生を送っているようです。ドン・キホーテの前身で、最初に出した店の名前は「泥棒市場」。この名前だけからしても、経営者の個性を感じ取れることができます。ドン・キホーテがユニークであるのは、店舗管理のマニュアルにも表れています。他のお店のマニュアルでは普通、商品はお客様に見やすいように陳列するのに対し、ドン・キホーテではお客様から分かりにくいように陳列するようにしています。これは、常識を逆手に取ることで、お客様の商品を探す意欲を駆り立てるそうです。

この流通業界の風雲児の安田氏は、ド素人から這い上がって起業し、深夜マーケットをいかに発掘・制覇し、数々のバッシングや経営危機をも、不屈の企業論で乗り切ってきたそうです。社内報のタイトルにも使われている「はらわた」という言葉は、現実社会で直面するさまざまな土壇場や自己実現の執念や想いを乗り越え、成し遂げるために、もがき苦しむ力、紆余曲折しながらも最後に遣い上がろうとする一念を、ドン・キホーテでは「はらわた力」として自己成長のために無くてはならないものとしているようです。

会員の皆さんも、これまで長年お仕事をされてきた中で、様々な困難があり、その壁を乗り越えてこられてきたと思いますが、結局、帰結するところは、「なにくそ、負けてたまるか」という反骨精神があったからこそ、今があるのではないでしょうか。<`～´>

しかし、最近では、この反骨精神に欠ける若者が多くなったようにも感じられます。

時代の変化や考え方の違いもあり、今の若者と私達を比べることは一概にできないですが、乗り越えなければならない壁に挑むことは、誰にでもあると思います。

私自身、壁にぶち当たった時に逃げるのではなく、それを乗り越えることで、自分を大きく成長することができ、また、そこで得た成功体験は、きっと人生の糧になると思っています。これからは、若者や子供や孫達に試練を与え、成功体験させてあげることが、今後の私達に課せられている使命の 1 つでもあるかも知れません。

ご清聴、ありがとうございました。

【会務報告】

①創立 60 周年の名刺案が決まりましたので、作りたい方は、お申し込みください。実行委員長の意向は、強制ではありませんが、できるだけ多くの会員が名刺を作って、60 周年の雰囲気を盛り上げて欲しい、ということです。なお、経費は 3564 円です。

②5/27(日)は地区協議会です。登録された会員は、第一本会議 9：35 からですので、市民文化ホールの第二ホールにお集まりください。

③例会終了後、次年度部門長・委員長・副委員長会を開催しますので、該当する会員はお集まりください。